

埼玉県内主要産業動向調査(産業天気図) - 2016年10~12月期 -

調査対象：県内企業 567 社

調査方法：アンケート方式 (11月中旬 郵送回収)

回答企業：234 社(回答率 41.3%)

業種別内訳：製造業 142 社 非製造業 92 社

概況

今回の産業天気図は、内外で需要の持ち直しや、足元の為替円安化などからやや好転し、雨がほぼ止み、曇り空が大半を占めている。

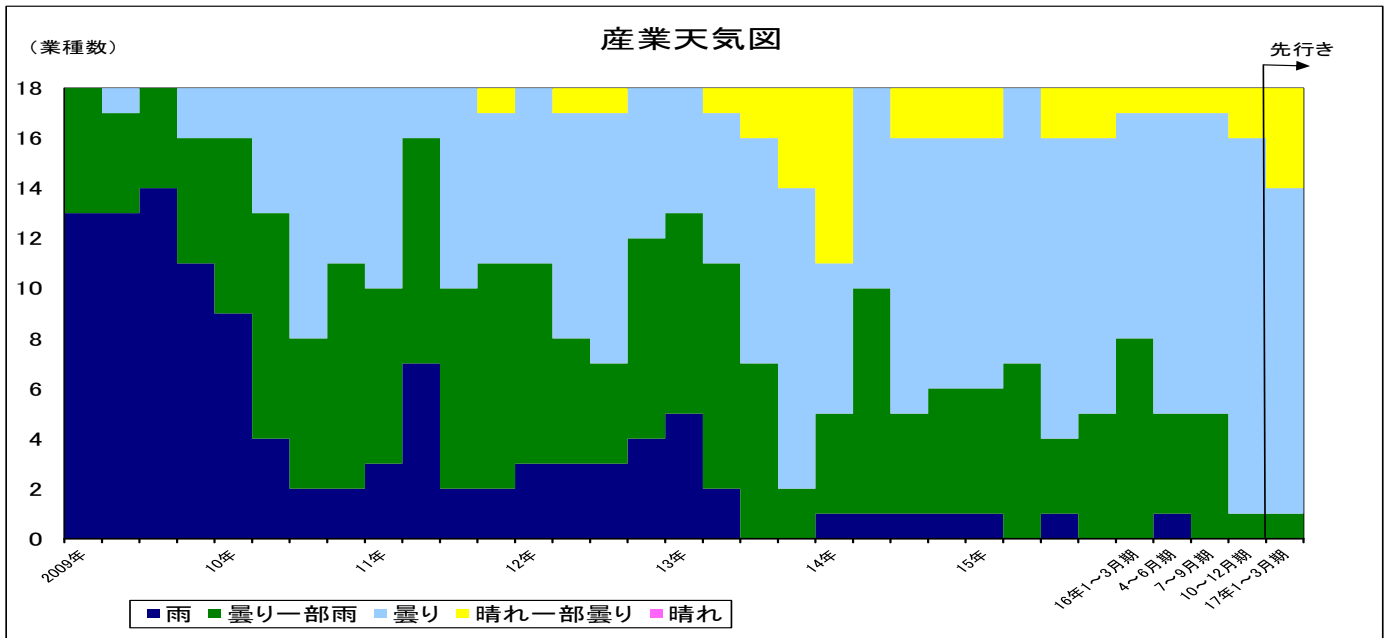
製造業では、生活関連型は後退したが、素材型や加工組立型産業が持ち直している。内訳をみると、今回天気に変化した業種は、**飲・食料品**が、飲料で受注環境の厳しさに加え、季節需要が一段落したことから「曇り」へ後退している。一方、**電気・情報通信機器**は自動車用等のセンサーや電気製品用のモーターの需要が堅調なことから「晴れ一部曇り」へ好転するほか、**鉄鋼・非鉄金属**は公共工事用建設資材の受注増加から、**金属製品**は自動車部品の海外需要増加から、**輸送用機械**は新車効果や中国での小型車減税効果から、各々「曇り」へ持ち直している。

非製造業では、**一般建設**は公共工事の受注持ち直しから「晴れ一部曇り」へ好転し、**不動産**は大宮・浦和地区のオフィスビルが空室の減少から「曇り」へ持ち直している。

先行きについては、製造業では、**化学・プラスチック・ゴム製品**は工業薬品の新製品販売の寄与から、**一般機械器具**は工作機械や金型の自動車向け需要の増加等から、**精密機械**は医療用や情報通信機器用が堅調を持続することから「晴れ一部曇り」へ好転する見通しである。非製造業では、**一般建設**は公共工事の発注が一服するとみられることから「曇り」へ後退する見通しである。全体の天気は、曇り空ながら晴間が広がる見通しである。

天気図別の業種数

区分	晴	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨
2016年 7~9月期(前回)	0	1	12	5	0
2016年 10~12月期(今回)	0	2	15	1	0
2017年 1~3月期(先行き)	0	4	13	1	0



(注) 天気マークと BSI 基準の目安

天気マーク	晴	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨
BSI	100 以下~50 以上	50 未満~20 以上	20 未満~-20 超	-20 以下~-50 超	-50 以下~-100 以上